

20230911 「ミライ」の学校を考える

今朝は、気になった教育関係の記事をそのままの抜粋でご紹介します。
在日ドイツ商工会議所SDGs賞審査員の谷口貴久さんの講演からです。

<「ミライ」の学校を考える>

「いい子育て」「わるい子育て」

「いい教育」「わるい教育」

こんな言葉を聞く事が増えました。

だけど、子育ても教育も、あくまでも「手段」だと思うんです。

であれば、「目的」がハッキリさせない限り、「いい」も「わるい」もない
と思うんです。

だけど、「子育ての目的は何ですか？」と聞かれて答えられる親が何人いる
でしょうか？

「学校教育の目的は何ですか？」と聞かれて答えられる先生が何人いるで
しょうか？

目指すところがわかっていないと、迷走を続けるハメになるんだと思いま
す。

イギリスに住んでいた時、「子育ての目的は何ですか？」と聞いた事があり
ます。

すぐに答えが返ってきました。

「子どもを1日でも早く自立させること」

単純明快ですし、すぐに答えられるという事は、日ごろからそれを意識し
て、大事にされているのでしょう。

目的が明確なので、手段もそれに沿ったものになります。

幼い頃から両親とは別の部屋で寝ますし、18歳をこえたら実家で暮らしはも
つてのほかだと言っていました。

(状況が違うので単純比較は難しいですが)

過干渉や、何でも親がやってあげる、困難を取り除いてあげる、などは論外
でしょう。

ドイツに住んでいた時、「教育の目的は何ですか？」と聞いた事がありま
す。

「たった一人でも反対できる人を育てる（戦争の悲劇を繰り返さないため、
国家権力が暴走しないように）」と返ってきました。

目的が明確なので、手段もそれに沿ったものになります。

ドイツでは「自分の意見を発言できたか」などで成績の60%が決まるそうです。

では、日本の教育の目的は何でしょう？

日本の教育がよくないという人もいますが、例えば目的がもし「時間を守る人を育てる」などであれば、大成功と言えます。

だけど、目的がもし「自己肯定感の高い子を育てる」であれば、失敗していると言えます。

やっぱり、目的ありきだと思うんです。

さて、その日本の教育の目的を、文部科学省のHPから抜粋してみました。平和的な国家及び社会の形成者として、（以下の徳目を有する）心身ともに健康な国民の育成を期すること。

①真理と正義を愛し

②個人の価値をたつとび

③勤労と責任を重んじ

④自主的精神に充ちた

②の「個人の価値を尊び」というよりは、かなり全体主義が強くなっていると思います。

④の「自主的精神」もかなり改善の余地があると思います。

一方で、③の「勤労と責任を重んじ」はその通りになっていると思います。

また、「心身ともに健康な」とありますが、その目的のためには「食の勉強」がかなり不十分だと思います。

そして、全体を通して、これらを目的と言うのなら、「ペーパーテストで80%の成績が決まる」はかなり矛盾を感じます。

手段の「いい」「わるい」を論じたり、悩んだりする前に、「目的」をハッキリさせて、優先順位をつける事が大切だと思います。

”あなたの子育ての目的（目指すところ）は何ですか？”